

宮城野会 会員数 192 名 (6/1 現在)

放送大学と宮城野会の一人ひとりをつなぎます

放送大学 同窓会

宮城野会会報

50 号

発行日 : 2025 (令和 7) 年 6 月

発 行 : 放送大学同窓会

「宮城野会」

放送大学宮城学習センター内

〒980-8577

仙台市青葉区片平2-1-1

Tel : 022-224-0651

Fax : 022-224-0585

E-mail miyagi-sc@ouj.ac.jp



高橋前所長 講演会



学位記伝達式 会長祝辞



緑が目にも美しい
宮城学習センターの中庭



入学者の集い

令和7年度 放送大学同窓会
「宮城野会」総会
会長挨拶



CONTENTS

2~4 宮城野会 とびっくす

5 新所長の挨拶 所長 八鍬 友広

6~8 招待席 絵本雑感

客員教授 加藤 由美

9~10 交流ひろば

11 宮城学習センターからのお知らせ

12 同窓会宮城野会からのお知らせ



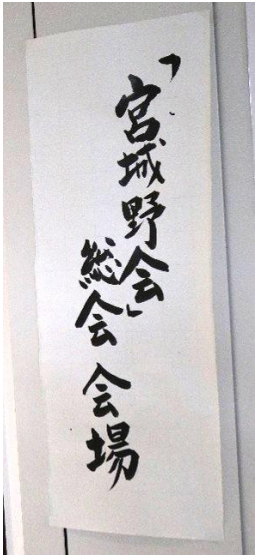
宮城野会

令和7年度 放送大学同窓会「宮城野会」総会

今年度は5月24日（土）午前11時から放送大学宮城学習センター講義室4で開催されました。今回は対面式で茶話会を行うことを考えて準備しました。

宮城野会の会員数は193名、出席者15名、委任状提出者124名、合計139名となり総会は成立しました。

佐々木会長挨拶の後に新しく所長に着任された八鍬友広先生より祝辞をいただき、そのあと総会を開催しました。議長に遊佐徳男氏が選出され、審議の結果、報告第1号・第2号議案、協議第1号から第5号のすべての議案が承認されました。



令和7年度同窓会「宮城野会」役員

役職名	氏 名	役職名	氏 名
会 長	佐々木 美枝子	事務局長	佐々木 幸 江
副会長	齋 藤 けさよ	理 事	佐 藤 賢 一 二 郷 成 子
会 計	佐々木 美枝子 佐 藤 賢 一 上遠野 純 子	新理事	鵜 殿 美 香 上遠野 純 子
		監 事	谷 津 美智子
		サポーター	大場 信子 小野寺 美恵子 大黒 福太郎 菊田 容二 菅原 弘美

総会終了後に茶話会を・・・この会に参加されたことが、とても充実したひとときであったことが、お話を通してみなさんの気持ちを汲み取ることができました。

会員みなさんのお声……返信ハガキより

○ 総会の出席者から

・今年度は忙しくなりそうで不安ですが、引き続きよろしく願いいたします / ・沢山の会員が集まり意見交換ができることを願ってます / ・皆様の活動ありがとうございます / ・昨年の暮れに心臓の病気が見つかりましたが今は落ち着いているので是非参加したいと思います / ・外出が楽な季節になったので出席したいと思います / ・何処を見ても花や緑で過ごしやすい季節になり日々空気のおいしさを感じています

とびくす



○ 委任状の方から

・選科履修生として政治学を学び直しています。ESS に参加しています / ・昨年秋には何回目かの学位記授与式に出席いたしました。謝恩会に同窓会の方々のご尽力の成果を頂き思い出深いものでした。心から感謝と御礼を申し上げます。同窓会宮城野会の益々のご発展を心から願っております。お礼までに / ・会報を楽しみにしています / ・総会には都合が悪く出席できません。宮城野会の活動は心強く折にふれて参加したいと思っております。県内や近県への日帰り旅行など気軽に参加できるような企画があればうれしいです。 / ・お忙しいところ同窓会の案内をいただき誠にありがとうございます。都合により欠席させていただき次回の機会にぜひ参加したいと考えております / ・皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます / ・授業のため不参加いたします（他に 1 件ありました） / ・所用があり欠席いたします。総会が盛会でありますよう祈念しております。役員のみなさま方ご苦勞様です。（他に 4 件ありました） /

・残念ですが用事があり参加できません。茶話会の盛会を祈念いたします / ・いつもお世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします / ・活動出来ず すみません /

・残念ながら仕事です / ・町内会のシニアグループの昼食会で「歴代総理」の名を上げるゲームがありました。我ながら数人しか思い出せず老化の進○に驚くばかりでした / ・癌話しお互い様と藤の下 そんな状況ですが他人と地域に役立つ自分になるために自己努力は続けています。盛会を念じております / ・私個人では行動が不可能であるために出席出来ない状態ですので失礼させていただきます。みなさんによろしく / ・総会のご盛会をお祈り申し上げます。私ことお陰様をもちまして 4 月で「米寿」を迎えることが出来ました。皆様どうぞご自愛の程を！ / ・同窓会幹部の皆様いつもありがとうございます。小生来春 2 度目の卒業をめざしがんばっております / ・ここ 2 年で航空無線通信士 測量士補 電検第三種主任技術者 となりました / ・役員の皆様 いつもお世話様です。記憶力低下でテストはがっかりしますが楽しみながらできる範囲で続けています / ・いつもお世話さます。先日の会報にて千葉本部での集まりのご様子。北海道での集まり・・・詳しく拝見しました / ・宮城野会会報を楽しみにしております。お届けいただきまして感謝申し上げます。現在認定心理士として、日本心理学会の開催する講習会などに参加して学び続けたいと思います / ・通信課題の提出にむけ、あせりながら勉強中です / ・日々仕事に行ってます。放送大学の日々が懐かしいです /

・いつも大変お世話になりましてありがとうございます。宮城野会会報が届くと何かほっと致します。そして初心を思い出され身が引き締まります。今後ともどうか宜しくお願い致します。宮城野会の益々のご発展をお祈りいたします / ・ご苦勞様です。学業から離れて久しいです /

・所用あり欠席させていただきます。4 月から大学院に入学し修士全科生（情報学プログラム）でメディア分野を研究中です。（学部学生も継続中です） / ・放送大学には 2004 年より大学院修士科目生といたしましてお世話になりましたのが始まりでした。今年で 22 年目でございます。修士選科生（大学院）に今年もお世話になっております。先約がありお伺いすることができず誠に申し訳ございません。ご盛会をお祈りいたします / ・同窓会の運営に感謝申し上げます（宮城野会に感謝の言葉を寄せた内容が他に 13 件ありました）

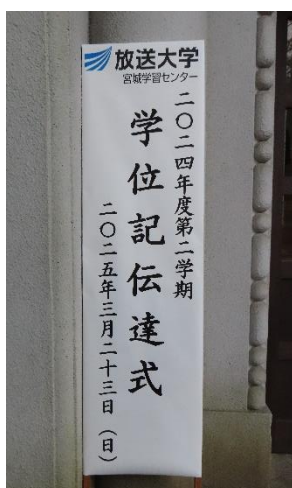
宮城学習センター 高橋 満 前所長による講演会

この講演会は2月9日、宮城学習センターにて「絵画鑑賞の教育的意義 ～脳活動の変化をとらえる～」と題して行われました。

高橋前所長は絵画を鑑賞するばかりでなく自ら絵画を描き、切り絵などの創作も見せていただきました。絵に関する全てを趣味にされている方とお見受けしました。絵を見学するとき、意味付け、そして意味の構成は自分で考え、自らのものとして考える。イコール学習です。鑑賞は自分自身の脳を活性化させるのです。今回の講演は高橋前所長の思いがとても熱く語られたものでした。



学位記伝達式



3月23日、宮城学習センターにおいて2024年度第2学期に卒業・修了単位を修得した学生の学位記伝達式が行われました。教養学部が59名、大学院文化科学研究科が4名とのことでした。また教養学部6コースをすべて修了した「名誉学生」が2名と発表されました。

2024年度で退任された高橋 満 前所長から直接手渡された学位記は、心に残る大事な思い出のこもったものでした。「宮城野会」の会員もおられ、とても記念する日となりました。

伝達式終了後に「宮城野会」主催で卒業祝賀会が開催され、食事をいただきながら学生たちの一人一人にそれぞれの心境を語っていただき有意義なひとときとなりました。

入学者の集い

4月6日に東北大学金属材料研究所2号館の講堂で開催されました。

新入生参加者は70名で、入学式では岩永 雅也 学長の開会のご挨拶がありました。

宮城学習センターから八鍬 友広 新所長のご挨拶、「宮城野会」佐々木 美枝子 会長の祝辞の後に事務長から放送大学の学びに関する説明をしていただきました。さらに客員教員の紹介や各サークルの紹介などを伺うことができました。



ご 挨 拶

放送大学宮城学習センター
所長 八 鋤 友 広

宮城野会会員の皆様に、ご挨拶申し上げます。2025 年 4 月より、宮城学習センター所長を務めることとなりました、八鋤友広と申します。今回が初めての寄稿となりますので、少し自己紹介をさせていただければと存じます。

私は、1960 年に山形県に生まれました。山形県は「八鋤」の姓が多い地域であり、現在も、寒河江市に「大字八鋤」の地名が残っております。かつては「八鋤村」と称したようです。と言いましても、八鋤の姓を名乗る者はそのあたりには少なく、むしろ県北の最上郡や新庄市に多いようです。私も新庄市の出身です。

山形大学教育学部を卒業した後、東北大学大学院教育学研究科へと進学し、学問研究の道へと進みました。1989 年より、新潟大学教育学部の教員となり、2012 年からは母校の東北大学に戻ってまいりました。本年 3 月をもちまして、その東北大学を退職し、本センターの所長を勤めさせていただいております。

専門は教育史学であり、日本の教育の歴史について研究をして参りました。江戸時代から明治期ごろまでの教育について、とりわけ初歩的な読み書き能力の形成について研究をしています。

江戸時代までの読み書き教材は、「往来物」という奇妙な名前と呼ばれております。NHK で放映されている大河ドラマ「べらぼう」でも、往来物が取り上げられるものと思いますが、当時の人々にとって、「往来」あるいは「往来物」といえば、手習い（習字をはじめとした文字学習）の教材のことだと、すぐに了解されるものであったと思います。

教科書がどうして「往来物」などと呼ばれるのか、現在の私たちには、むしろ不思議な気持ちがありますが、実を言えば、日本の歴史のうち 800 年ぐらいは、往来物が読み書きのための教科書の総称でした。現在用いられている「教科書」という語などよりも、はるかに長い歴史を有する言葉だったのです。ちなみに、なぜ往来物などと呼ばれるようになったのかについては、私の面接授業でお話ししておりますが、日本における読み書き学習の在り方そのものにかかわる、重要なテーマであると考えております。

江戸時代は、読み書き教育が広く普及した時代でしたが、それがどれくらいの識字率をもたらしたのか、ということは、私の重要な研究テーマとなっております。とはいえ、江戸時代には文部省もありませんし、政府（幕府）はそのようなことに重要な関心を寄せていませんでしたから、当時の正確な識字率などを知ることは基本的に不可能といわなければなりません。もっとも、文部省が成立した明治以降であっても、識字率を知ることはそう簡単ではありません。ごくわずかな手掛かりが残されているにすぎません。このようなわずかな手掛かりによりながら、識字率への問いにチャレンジしてきました。

以上に述べました往来物や日本の識字につきましては、すでに著書を記しております。『読み書きの日本史』という著書であり、岩波新書として 2023 年に刊行されました。ぜひご覧いただければ幸いです。

さて、同窓会は、学びの道をとともにした者たちの大切なコミュニティです。大学としてもきわめて重要なものとして位置づけております。皆様のコミュニティがさらに発展されますことを心から願ひまして、私のご挨拶にかえさせていただきます。

今後、どうぞよろしくお願いいたします。



招待席

絵本雑感

放送大学宮城学習センター

客員教授 加藤 由美

大型連休中のある日、ふと思い立って書斎の本棚を整理することにした。本棚のガラス戸を久しぶりに開けると、特にお気に入りの本を並べてある特等席に、選ばれし本たちに混じって昭和の古い絵本や児童書が何冊か、主の訪れをじっと待つかのごとくそっと佇んでいた。一瞥してなんとも言えず懐かしい思いに駆られ、そこから一冊を取り出した。講談社の絵本ゴールド版の「童謡画集」だ。発行は昭和33年12月1日、私が生まれる以前に出版された絵本である。これは私が四歳の頃、親戚の家を訪れた際に当時小学生だったその家の男の子から譲り受けたものだった。正確にはその子の父親が、息子はもう絵本を読む年頃ではなくなったので、よかったらシリーズ全冊を持って行っていいよと私の両親に言ってくれたのである。そこで譲り受けた何十冊もの絵本は、私の生涯を通じて最高の贈り物の一つとなり、その後出会った数多くの書物とともに、私の人間形成において大きな役割を果たしてくれた。

幼い頃、本棚にずらりと並んだ絵本を眺めるたびに心を躍らせたものである。今日は何を読もうかしら。桃太郎、シンデレラ、金太郎、人魚姫、分福茶釜、アラジンと魔法のランプ、一寸法師、ピノキオ、かちかち山、青い鳥、浦島太郎、ガリバー旅行記、安寿と厨子王、イソップ絵話、牛若丸、宝島、鉢かつぎ姫・・・今でも絵本のタイトルが次から次へと懐かしく思い出される。それらはまさに、幼き私にとって古今東西の物語の尽きることなき宝庫だった。いま私が手に取っている童謡画集は、この絵本シリーズの記念すべき第1巻なのである。

あれから幾星霜、人生の様々な変転の中で、絵本の大部分は失われてしまった。とうに還暦を過ぎた今の私の手元には、この童謡画集と、それに続く童謡画集（二）（三）の三冊だけが残った。三冊とも70年近い歳月を経て経年劣化が著しいが、私にとっては大事な宝物である。数ある絵本の中から、物語ではなく童謡画集を残したというところが私の好みを表している。私は歌が大好きな子どもだった。母とこの絵本のページを一枚一枚繰りながら、一緒に童謡を歌った幼き日々を思い出す時、私の心にはぽっと温かい火が灯るのである。

童謡画集の魅力は、歌を、詩やメロディだけでなく視覚的にも味わえることにあると思う。この絵本では、黒崎義介、武井武雄、鈴木俊雄といった童画家、そして郷倉千靱、望月春江などの日本画家による絵が、野口雨情（七つのこ、しょうじょうじのためきばやし）、武内俊子（かもめのすいへいさん、りんごのひとりごと）、北原白秋（あかいとりことり）、三木露風（あかとんぼ）などの作詞による歌の世界観をそれぞれの画風で豊かに表現している。それらを何回眺めても、見飽きることが無い。

◆ 「招待席」は、客員の先生に原稿をお寄せいただいております。

童謡画集の巻末には、あとがきとして「おかあさまへ」という一文が載っている。当時の児童図書出版業界の志と矜持を窺い知れるので、長文であるがここに引用する。

本社は創業以来半世紀の長い間児童図書出版業界の向上に微力を尽くして参りましたが、ここに創業五十周年を迎えるにあたり、長い伝統と研究の成果を生かして「講談社の絵本ゴールド版」を刊行することになりました。題材は、お子さまにもっともよるこばれる世界名作の中から精選し、絵も文も現代日本の最高の諸先生がたにご執筆いただき、さらに印刷・造本・用紙についても、すぐれた文化財としての周到な配慮がなされ、文字通り絵本の決定版といたしました。願わくは、お子さまがこの絵本を通して美しい夢と豊かな情操をはぐくみ、一家の幸福と国家の繁栄につながる心強い成長を遂げられることを念じます。

加えてこの絵本には、茅誠司氏（当時の東京大学学長）が次のような文章を寄せている。こちらにも引用する。

私の願いの一つは、子供たちに良い絵やお話を十分に与えたいということです。幼いころに見たり読んだりした美しい絵やお話は、いつまでも心の奥に焼きついてその人の性格をかたちづくるのに大切だからです。すくすくと伸びた健康なからだに、美しいもの正しいものを愛する心に満ちた子供たちが多くなることは、ほんとうにうれしく頼もしいことで、日本じゅうの子供がこの絵本によってすこやかに成長することを、父母のみなさんとともに願ってやみません。

この絵本シリーズの刊行は昭和 33 年なので、出版の企画は戦後 10 年を経た頃から立ち上がったのではないかと推察する。そうした時代背景を思うと、子どもたちの健やかな成長が家庭の幸せにつながり、個々の家庭の幸せが国家繁栄の礎となることを祈念した、編集部や茅誠司氏の文章は、戦後の混乱期を経て高度経済成長の黎明を迎えつつあった当時の人々の心情を物語っているように思われる。尤もこれらの文章の一部には、現代を生きる我々には共感しづらい部分も若干あろう。例えば、子どもに絵本を読み聞かせるのは母親（だけ）の役割という考え方が一般的だった当時、あとがきのタイトルが「おかあさまへ」であることに疑問を抱く人は殆どいなかったと思われる。一方、父母が協力して子育てするのが当然であり所謂ワンオペは避けるべきものとみなす現代では、絵本のあとがきのタイトルを「おかあさまへ」としようものなら、一部の人々の間で『おとうさま』の存在を無視するのか」と小さな物議を醸すかもしれない。

招待席

しかしながら時代背景の変化やそれに伴う価値観の変容等を度外視すれば、次代を担う子どもを社会全体で大切に育もうとする人々の意思は、過去から現在まで一貫してしっかり受け継がれているように思う。この絵本の定価は一冊 100 円、送料 32 円だった。刊行された昭和 33 年当時の物価が、銭湯の入浴料 16 円、国鉄の最低運賃 10 円であることを考えれば、100 円の絵本は決して安くなかったはずである。さらに、この絵本シリーズは毎月二冊ずつの刊行だったので、全冊揃えようとすれば毎月 200 円の出費となる。それでも我が子の健やかな成長を願い絵本を買い与えた多くの人々の親心は、今と何ら変わらない。

この絵本シリーズから自分が計り知れない恩恵を受けてきたことを、私は改めて思った。同時に、親はもとより、私という人間を有形無形に見守り育ててくれた無数の先人や、そうした人々から成る当時の社会への感謝の念で、胸が一杯になった。そして今度は自分が、次代を担う子どもや若者の成長に公私にわたり有形無形に与ることで、親や先人、社会から受けた大きな恩をお返ししたいと思ったのである。こうしたことは、子育てや仕事等を通じてこれまでも行なってきたのはいるのだが、これからは「育む」ということをより意識しながら次世代の人々と関わっていきたい。

結局、本棚の整理は出来ずじまいに終わった。とはいえ、期せずして再会した懐かしい絵本から一つの気づきを得たことは、私にとって本棚の中が乱雑なまま放置することを補って余りある収穫であった。気づきと言っても、読者の皆様からすれば、この拙文の表題どおりの「雑感」でしかないであろう。その点を何卒ご海容願えれば幸いである。

<プロフィール>

加藤 由美（かとう ゆみ）
博士（経済学）

東北文化学園大学 経営法学部・教授
東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科・教授

仙台市生まれ。
医療ソーシャルワーカーとして病院勤務の後、
大学教員となり現在に至る。

主な研究領域は、多分野・多職種ネットワークによる
地域連携の評価



新入会員のコメント

佐藤 弘憲

「社会と産業」を卒業して「宮城野会」に入会しました。よろしくお願いします。放送大学で学んだことは数多くありますが、試験やレポートの結果を知る時の緊張感を大切にしています。継続して「心理と教育」で主に明治時代の教育の歴史を学びます。「宮城野会」の皆様との出会いも大切にしたいと考えています。



放送大学と共に 30 年

大場 信子

今年は放送大学同窓会「宮城野会」創立 25 周年に当たる。私の放送大学入学はその 5 年前であるから大学との関りは 30 年続いている。ちなみに放送大学の設置は 1983（昭和 58）年で 1985（昭和 60）年 4 月から 6 カ所の学習センター（群馬、埼玉、千葉、東京第一、東京第二、神奈川）で授業開設されたので、今年は 40 周年に当たる。

「いつでも どこでも だれでも入学できる」という看板を掲げている放送大学のシンボルマークは次の 3 点を表わしている。①知識を吸収し、集約し、人格形成され 外に向かって上昇していくこと。②多数の人々が教育を受ける機会 ③白は知識の吸収を、ブルーは人格の形成である。

1994（平成 6）年 10 月選科履修生として宮城学習センターに入学した。看護教員として看護師養成 3 年課程で働いていた時だった。2 年後 1996（平成 8）年 4 月に全科履修生となり、埼玉学習センター所属となった。当時はウィークエンドキップを使用し、面接授業や単位認定試験時は大宮をはじめ千葉や東京迄通学した。

1998（平成 10）年 4 月に、宮城でも全科履修生を受入れ、所属を変更した後は時間と交通費の大幅削減と天候や新幹線ダイヤの乱れ等の心配は不要となり、とても嬉しかったことをいまでも覚えている。1999（平成 10）年 4 月から卒業研究が始まった。

4月から11月：指導教官の元で研究（東京第二学習センター）、11月から12月：報告書の提出、12月から1月：報告者審査、面接審査（東京第二学習センター）を経て2000年3月の卒業が認定された。指導教官は学生の「卒業後も勉強を続ける。あるいは続けたい」という希望に応え続けていた卒論ゼミを先生の2000年4月早稲田大学への移動を機に「タイム＆ライフ研究会」に再編して下さった。迷わず入会した。活動の内容は月1回の例会（午前：輪読会、午後：研究発表会）年1回の懇親会、1年間の学習成果と研究ノートとして刊行することであった。

お世話になった指導教官とメンバーとの再会を求め、東京での卒業式に出席した。卒業式後に放送大学同窓会連合会主催の祝賀会があり、ここで仙台から参加していた佐々木さん（現同窓会会長）に声をかけられた事が、宮城野会創設の始まりだった。「宮城学習センターにも同窓会が必要である」「同窓会創立に賛成してくれる人が1人いる」「貴女が賛成であれば3人で準備が出来る」との誘いに同意した。早速3人で準備に取り組み6月にはスタートしたのだった。3月卒業式から6月創設迄の間は、名称の検討、規約づくりなどの決定に向けて連日準備に明け暮れたが、皆元気に過ごした。まだ卒業生の数も少なく11名でスタートしたが、その後は増加の一途で経過した。

同窓会スタートの3年後2003（平成15）年4月職場が地域連携室に転勤となった。医療従事者はじめ他職種との連携を求められる現場で働く医師や看護師の姿から医師や看護師の指示で働く准看護師が自らの判断で働く看護師になる必要性を痛感した。

「看護教育の通信制」の案は1973（昭和48）年の「看護：制度の改善に関する報告」に見られるが、実習が主要な時間を占める看護教育への導入は見送られていた。が、視聴覚教材や通信手段の発達により2003（平成15）年3月に省令が發布され、看護師養成2年課程（通信制）が2004（平成16）年度の3校皮切りに全国に拡大した。放送大学での修得単位を認定する形で創設されたのである。仙台でも開設に向けての動きがあり2006（平成18）年3月に定年退職した私は、2007（平成19）年4月から、開設に向けての準備室が第二の職場になった。ここでは宮城学習センターの学生時代と同窓会創設時のセンター職員の方々との関わりを通して関係性が深まっていた事は通信制の看護教育実現に大きな力となっていたと思っている。

開校準備から学校開設、学校運営、教育と13年間勤務し2020（令和2）年3月に退職した。今年の3月「2025（令和7）年3月迄の卒業生は2,500名に達した」「卒業生の94.9%が看護師国家試験に合格した」と報告を受けた。これは準備室時代の想定を超える大きな成果であると思った。併せて「2025（令和7）年4月の入学生を最後に募集停止が決定」の報告から学校の目的、役割が達成されたのだと判断した。

現役を退職した私は趣味（華道、パッチワーク等）を楽しみながら同窓会役員のヘルパーとして宮城学習センターを訪れている。そこでは「同窓会役員のなり手がない」とか「どこか（他県）では役員のなり手がおらず消滅した例がある」等聞いたが宮城野会が続いて欲しいと祈っているこの頃である。

宮城学習センターからのお知らせ

2025（令和7）年度 10月入学生募集中！

一出願受付期間一

■教養学部（全科生・選科生・科目生）

■修士（全科生・選科生・科目生）

第1回募集期間：2025年8月29日（金）まで

第2回募集期間：2025年8月30日（土）～9月11日（木）

募集要項は、放送大学ウェブページよりご請求または、宮城学習センターにお越しください。

↓↓ 資料請求はこちら ↓↓



一個別相談随時受付中一

再入学に関する相談・学習の進め方等に関する相談を承ります。試験の受け方、成績の確認方法など、在学生の相談も受け付けています。

ご希望の方は、宮城学習センターまでご連絡ください。

公開講演会を開催いたします！

「太陽フレアと宇宙天気予報」

近年、太陽活動が地球や人類の宇宙活動に及ぼす影響が、明らかになってきました。太陽が引き起こす巨大な爆発現象である「太陽フレア」の影響で、多くの人工衛星が故障しています。民間人や民間企業が宇宙に進出する時代となった今、宇宙の嵐の予報、すなわち「宇宙天気予報」の重要性が、世界的に広く認識されるようになっていきます。最近の巨大太陽フレアが引き起こす宇宙災害を解説しながら、今後の安心・安全な宇宙活動に必須な「宇宙天気予報」についてお話します。

日 時：8月23日（土）

13：30～15：10（開場12：45）

会 場：東北大学片平さくらホール

講 師：小原 隆博 氏

東北大学名誉教授・宮城学習センター客員教授

申込み先：宮城学習センターまたはQRコードより

電話022（224）0651

8/23

公開講演会お申込み



お待ちしております！



同窓会 宮城野会からのお知らせ

映画「二宮金次郎」の上映会を行います

来る 11 月 22 日（土）宮城野会の企画として、皆さんご存じの二宮金次郎に関する映画「二宮金次郎」の上映会を行います。

この作品は 70 歳の生涯を映画化したものです。

今年は全国的に貴重な食糧「お米」が品薄で「古米」の販売に踏み切っているというニュースが報道されています。この映画の見どころは、二宮が生きていた時代、天保の飢饉を乗り越えた二宮が成し遂げた功績が描かれております。

この映画を一度ご覧いただきたいと思います。

日時：11 月 22 日（土） 13：00～

場所：宮城学習センター

参加無料です。

皆様お誘いあわせの上、ぜひお越しください



この映画は二宮金次郎

令和 7 年度 年会費納入について

同封の振込取扱票（青紙）を使い、最寄りの郵便局の ATM・窓口で振込みをしてください。よろしくお願いいたします。

* 前年度までの会費未納の方には、合計金額を記載した振込取扱票（青紙）をお送りしています。



- ・ ゆうちょう口座名 放送大学同窓会宮城野会
- ・ 年会費 **1,500 円**
- ・ 記号 0 2 2 3 0 - 0 ・ 番号 4 7 1 8 8



各 500 円 ▶ バッジ購入希望の方は、宮城野会役員または宮城学習センター事務室を通してお申し込みください。

「会員のページ」への投稿募集

封書または E メールで宮城学習センター「宮城野会」までお寄せください。

皆様の投稿をお待ちしております。

E-mail miyagi-sc@ouj.ac.jp